

## 第7回与謝野町総合計画審議会 会議報告書

日時 令和4年12月13日(火) 午後7時30分～午後9時30分

場所 岩滝保健センター 会議室1・2

出席 (敬称略)

谷口 知弘	辻村 謙一	木村 順一	関野 宅矢
塩野 浩士	太田 豊	安達 幸三	濱田 祐太
中田麻由美	杉本 弘治	植田友香理	樋口 潔
細井 昭男	井上 豊	長谷川 達	高岡 知子
市川 孝雄	茂龍 美夫	佐賀 義之	

欠席 (敬称略)

糸井 恵美	森垣 和哉	川邊 真	井上 重子
-------	-------	------	-------

事務局

企画財政課 小池課長	同 小谷主幹	同 井上係長	同 松本主任
------------	--------	--------	--------

傍聴者 なし

### 「会議の要点」

- 答申書(案)の最終確認
- 本年度の活動の振り返り
- 次年度及び次年度までの活動内容の確認

会議要旨 以下のとおり

#### 1. 開会

- 小池課長の進行により会議を開会。

#### 2. 会長あいさつ

(谷口会長) 皆さんこんばんは。第7回目を迎える本日の会議。審議会の大きなスケジュールとしては最終回となった。与謝野町に来るのはとても楽しみにしていた。雲原を超えると、加悦谷平野が見え、美しい里山も見える。阿蘇シーサイドパーク周辺の散歩や、地元スーパーに寄るのも楽しみにしていた。今日も寄ってきたところ。今日が最終かという気持ちになっていたが、答申を出すことがスタートになる。後半に、次年度の活動についてという議題があるが、できた計画を町民参加で、みんなの知恵や力を使っていっしょに進めていくのか、そういったことを今日から考え出していかなければならないなと思う。考えるということはとても楽しいこと。これからの4年間の計画を皆さんとどう進めていくのかという議論を始めていくことができれば素敵な時間になる。本日もよろしくお願いします。

### 3. 第6回会議の振り返り

- 事務局から、説明資料に基づき（スライド投影）、第6回会議の要点を説明。

### 4. 会議の進め方について

- 事務局から、説明資料に基づき（スライド投影）、本日が答申前の最後の会議となること、パブリックコメント日程、議会での審議日程、本日の論点を説明。

### 5. 議事

#### （1）分野別計画に係る指摘事項への対応について

- 事前資料「分野別計画に係る指摘事項」に基づき、審議会からいただいた意見や指摘事項に対する対応・考え方について意見聴取。主な意見は以下のとおり。

<主な意見>

- ・ 山を元気にする取り組みは重要。もっと大事にしなといけない。荒廃すれば元通りにならないもの。山に関わる活動を「業」になるよう支援していくべき。
  - ・ 林業を環境分野の方に入れてしまうと離れてしまう。環境分野でも活動支援は得られるにしても、産業分野に位置づけるべき。
  - ・ 林業と地元事業所を結び付けたり、公共事業での積極利用など、業につながる取り組みが重要。そういったことを町に根付かせることができれば。
  - ・ 織物業の振興について、補助金を投入して、数を維持することが織物業にとって本当に良いことなのか。数が減ることは産業の衰退につながるのか。供給側が多いのが現状ではないか。従事者自体も疑問に思われている方もある。織物業を弱くする支援と感じる。
  - ・ 織物業は分業で成立している産業。織物事業者が減少していくと、糸偏産業に関わる人の仕事なくなる。産業を消さないため、産地を維持するには一定の数も必要。
  - ・ 織物業は、産業として保存しながらも、深化・転換していくという視点が必要では。
- 林業は「分野1（産業・仕事分野）」に追加し、基本施策を「農林業の振興」に変更。施策に林業関連の施策を追加する。
  - 織物業は、「挑戦」と「産地の維持」が両輪。施策の目的は、「地域固有の産業である織物業を持続可能な産業にすること」とする。（「織物事業者・従業者数の減少を抑制すること」は削除）

#### （2）後期基本計画答申内容について

- 事務局から、資料「答申書（案）」について概要を説明。
- 主な意見は以下のとおり。

<主な意見>

- ・ 「重点プロジェクト」は具体の提案になってないが、このままでよいか。  
→（会長）重点プロジェクトを具体化していくの審議会。皆さんから意見をいただきながらプロジェクトを進めていきたい。
- ・ 「織物業の振興」については目的を変えることになるので成果指標も変更すべきでは。  
→（事務局）再検討し、最終案の際にチェックしていただきたい。
- ・ 「ファンづくりの推進」については施策と目的との関係を考えて、目的の「関係人口を増やすこと」は不要では。ふるさと納税件数を指標に含めてはどうか。

- （事務局）目的については、削除する。ふるさと納税については、基本施策レベルの指標ではなく、施策や事業レベルでの指標となる。実施計画作成の際の参考にする、
- 指摘事項の修正を行った改定版を12月16日までに作成し、再度意見照会をする。その後の修正については正副会長と事務局に一任いただく。

### （3）本年度の活動の振り返り（グループワーク）

- 4班に分かれ、「良かったこと、続けたいこと」「課題、うまくいかなかったこと」「課題の解決策、次年度やってみたいこと」をテーマにグループワークを実施。結果は別紙のとおり。
- 各班から出た主な意見は以下のとおり。

＜良かったこと、続けたいこと＞

- ・ 活発な議論や意見交換ができた
- ・ 町内にこんなにも組織があることは知らなかったので勉強になった
- ・ 町の取り組みを知ることができた
- ・ ファシリテーターの進行が良く、話しやすかった
- ・ 与謝野町を良くしたい、良くなったら良いという思いを持つ様々な立場の方の考えにふれることができた
- ・ 自分と反対の意見や、異なる立場からの意見を知ることができた
- ・ 自分の思いを基本計画の中に入れることができた
- ・ 考え方のリセットができた
- ・ 地域のことを知るきっかけになった

＜課題、うまくいかなかったこと・課題の解決策、次年度やってみたいこと＞

- ・ 議論が広範囲に及んで、時間が足りなかった
- ・ もっと一つのテーマを深く議論したかった
- ・ 会議会場を3地域で
- ・ もっと事前学習をしておかないといけなかった
- ・ みんなが良くなるための視点で議論をすることが難しかった
- ・ テーマが多岐にわたっていて、議論が分散してしまった
- ・ もっと若者や女性の参画が得られれば
- ・ ここで話したことを具体的に行動に移したり、実現していくことが求められる
- ・ WSに慣れていなく意見が出しづらかった
- ・ 説明は簡略にして、WSで話し合う時間をもっと多くとることができればよい
- ・ 医療関係者の参画があってもよかった
- ・ ミーティングアプリの活用でハイブリット開催ができれば、若者などの参画も得やすいのでは

### （4）次年度の活動について

- 事務局から、後期基本計画の進捗状況の確認をいただくこと、重点プロジェクトの内容を検討することが次年度の主な活動となる旨を説明。
- 委員の主な意見は次のとおり。
  - ・ 年度内に重点プロジェクトについて検討する会議の開催をしてはどうか
  - ・ 基本計画はみんなで時間をかけてつくったもの。議員の皆さんに、この審議会での議論の過程を知った上で判断してもらいたい

- ・ 会議の場所について、各委員の皆さんや地域の活動拠点で行っても良いのでは。そうすることで活動をより深く知ることができる
  - ・ より交流・懇親を深める機会づくりを
  - ・ 有志で会議をつくっていく仕掛けづくりができれば
- 委員意見をもとに、事務局と正副会長で次年度及び次年度までの活動内容を検討し提案する。

## 6. 副会長あいさつ

(佐賀副会長) 長時間ご苦勞様でした。後期基本計画案がほぼ完成し、あとは見直しを残すのみという運びとなった。振り返ってみると、6月7日にスタートし、谷口会長のホッとするような進行で今日まで進めていただいた。ここにきて、皆さまからいただいていた部分的な意見が総合的につながり、内容の濃いものになってきたと思う。12月27日にいよいよ答申という運びとなった。今後については、計画に参画するとともに、進捗状況を見守ることも私たちの重要な役割と思う。長期に渡り協議いただきましたことを心より御礼申し上げる。

## 7. 閉会